

超促進耐光性試験機

岩崎電気株式会社製 超促進耐候性試験機 アイスーパーUVテスター SUV-W161

超促進耐光性試験機は、製品の品質劣化に主に作用する紫外域(300nm-400nm)の放射照度が強いメタルハライドランプを光源とする耐候(光)性試験機で、サンシャインカーボンアーク灯式やキセノン方式の耐候性試験機の約10倍、屋外暴露試験の約100倍といった劣化促進試験*を実施することができ(屋外暴露試験で1年に相当する耐光性試験を5日程度で実施できます)。さらに温湿度の制御、降雨を想定した環境下での耐候性試験も可能です。プラスチックをはじめ、各種素材の研究開発、品質管理を効率的に行うことができます。

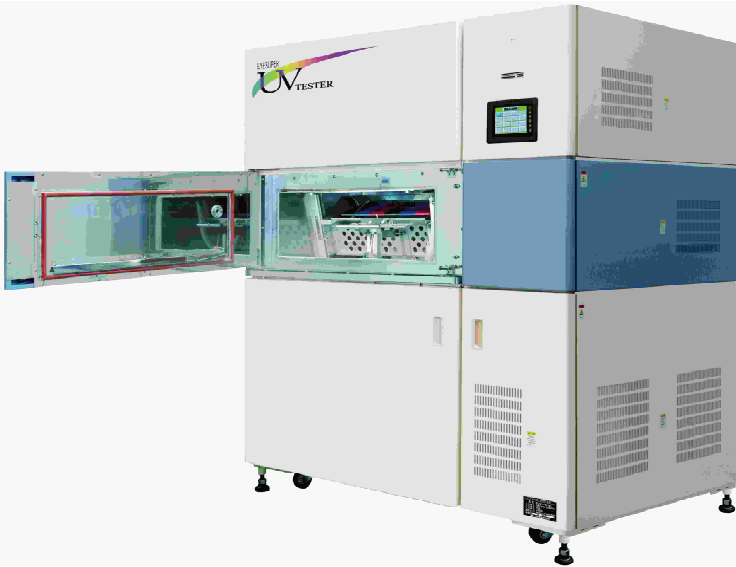
*促進倍率は、材料により異なります。

仕様

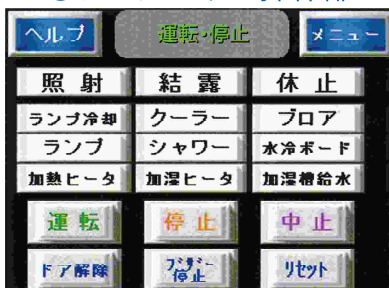
- 紫外線照度 150±8mW/cm²
(JIS C 1613対応の放射照度計による測定)
- 均斉度 90%以上
- 温度制御範囲
照射時(BPT) 50~85℃
休止時(BPT) 35~75℃
BPT:ブラックパネル温度計
- 湿度制御範囲
照射時 40~70%RH (BPT63℃のとき)
休止時 50~90%RH (BPT50℃のとき)
- 有効照射面積 約80,000mm² (190mm×422mm)

特徴

- タッチパネル操作部にて多様な試験条件の設定が可能

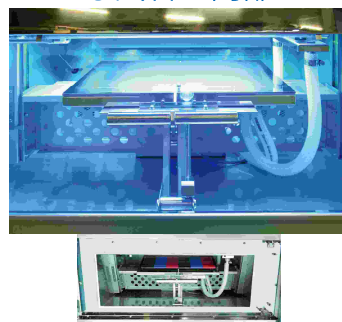


●タッチパネル操作部



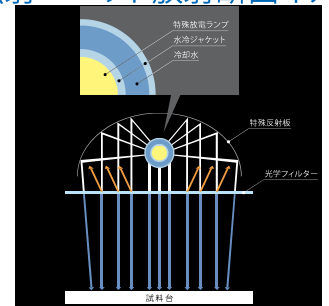
温度、湿度、シャワーの設定や、照射、結露、休止などといった運転モードの設定ができます。

●試料室内部



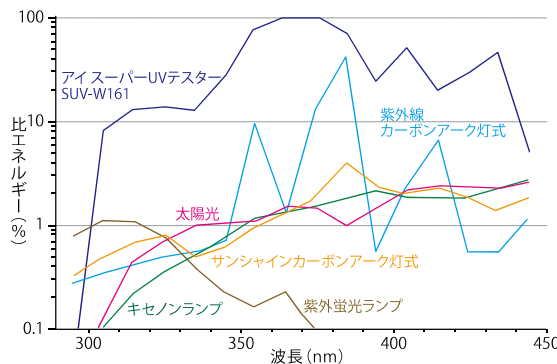
水平式のメタルハライドランプにより光を照射します。様々な形状の試料に対応できます。

●照射ユニット放射断面イメージ



反射板が試料台に照射される紫外線放射照度分布を均一にしています。

●耐候性試験機各方式の分光特性

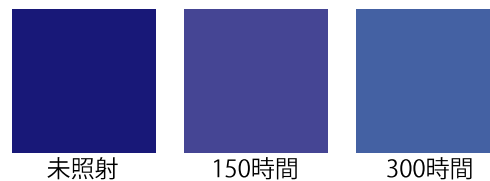


紫外線カーボンアーク灯式の耐候性試験機やサンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験機、キセノンランプの耐候性試験機等と比べて、紫外域の放射照度が強くなっています(SUV-W161の照度を100%とした場合の比エネルギー値)。

使用料

- 設備使用:調整中

●試験例



■試験例

硬質青色ポリ塩化ビニルに対し、照射3時間、結露2時間のサイクル試験を150時間、300時間行った場合。

	時間	日数
屋外暴露	10,000	420
サンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験機	1,000	42
キセノンランプ式耐候性試験機	1,000	42
アイスーパーUVテスター SUV-W161	100	4

■塗料の色差測定例

同じ色差測定値になるまでの照射時間の目安

(注) 写真及び図表は岩崎電気(株)アイスーパーUVテスターSUV-W161カタログから引用しました。

www.pref.yamanashi.jp/yitc/fit/

FUJI INDUSTRIAL TECHNOLOGY SUPPORT CETNER

〒4019-0004 山梨県富士吉田市下吉田6-16-2 TEL:0555-22-2100 FAX:0555-23-6671 D:01-n 繊維技術部:0555-22-2101 機械電子技術部:0555-22-0944

富士技術支援センター